

古河維新の会

古河維新の会は 9 月 26 日、八戸ポータルミュージアム「はっち」を視察した。まちづくり、文化芸術、観光、ものづくり、子育てなどの活動をサポートする多様な設備を備えた複合施設であり、1、3 階では八戸の魅力や観光スポットを紹介している。館内には八戸の食を味わえるカフェや、伝統工芸の製作、販売

を行っている「ものづくりスタジオ」もあり八戸の魅力を深く実感することができた。

翌 27 日には北海道函館市を視察した。地域交流まちづくりセンターは大正 12 年に建造された丸井今井函館店を再利用し、地域の情報発信や市民交流の場の提供および市民活動の支援など多岐にわたって利用されている。また、指定管理者制度を導入し、NPO サポートはこだてグループが管理している。

古河市でも人口減少に対し定住促進に力を入れていると思うが、若い世代が安心して子育てができる、住みやすい環境づくりに全力で取り組むことを望む。



増田 悟 倉持 健一
山腰 進 稲葉 貴大

市政同志会

当会派は 10 月 11 日・12 日に新潟県長岡市で開催された第 80 回全国都市問題会議に参加した。

今回のテーマは「市民協働による公共の拠点づくり」、東京大学教授の本郷氏の基調講演に続き、開催市の磯田長岡市長が「長岡市の市民協働」と題して主報告を行った。また、前葉津市長やアオーレ長岡の建設に携

わった建築家の隈研吾氏などによる大変興味深い一般報告もあった。

地方自治体における持続可能な地域づくりには市民協働が重要である。今回、さまざまな事例報告がされたが、人材育成や活動拠点が共通課題であった。

古河市でも市民協働によるまちづくりを推進するためには、リーダー育成が最重要課題となると改めて感じた。

市政同志会では今後も市民の

要望に応えるべく、日々活動、研究を行っていく。



渡邊 澄夫 小森谷英雄
佐藤 泉

政研・市民ベースの会

当会派では、市民の皆さんと「心をつなぐ、共に学ぶ」を合言葉に活動を行っています。

◆第 2 回未来塾セミナー

障がい理解「共に生きる」とは何かをテーマに、東京オリンピック・パラリンピック組織委員会理事である中森氏の講演「パラリンピックスポーツの魅力について」、元日本代表を含む

車椅子バスケットボールチーム「栃木レイカーズ」のエキシビジョンマッチ、体験会を実施。子どもたちを中心に約 100 名と楽しく活動を行いました。

◆議会活動

当会派は特定の党派ではなく、無所属を含め多様な考え方を持つ議員で構成されており、一つ一つの議案、請願・陳情に対しても、「何が本当に大切なことか」を根底に、党派に縛られることなく採択を行っています。

これからも市民の皆さんと心をつなぐ行政では実現が難しい企画を実施し、市民協働を実践してまいります。



並木 寛 生沼 繁
大島 信夫 秋山 政明
阿久津佳子 長浜 音一